

夏休みスペシャル・小奴可の里自治振興区・読書感想文まつり

本で つながったね

1年 柳生 連太郎

ぼくは、学校で『こいぬが うまれるよ』という本を よみました。ダックスフントの おかあさん犬から こいぬが 生まれてくるときのおはなしです。手に のるくらいに 小さなこいぬたちが、とつてもかわいくて かわいくて、うちに ほしくらいでした。しゃんも たくさんこのついでに、こいぬが 大きくなるようすが よくわかりました。おかあさんに このことを はなしました。そうしたらおかあさんは、「えっ。」と おどろいて、「その本 しってるよ。小学生のときに」としよついで 見つけて お気に入りだったんだよ。」とおしえてくれました。ぼくの 大好きな本と おかあさんのお気に入りの本が おなじだったのよ。とてもびっくりしました。つぎの日、おかあさんに 見せてあげたくて、学校から かりて かりました。おかあさんに 本を 見せると、「そうそう、この本だよ。なつかしい。」と、いいながら お気に入り ページをおしえてくれました。ぼくも おなじページが すきで二人で うれしくなりました。

おかあさんは、この本を 小学生のときにちげけんで よんでいて、ぼくは、いま、ひろしまけんで よんでいて、なんだか ふしぎだなとおもいました。おかあさんも まさか ぼくが この本とであうとはおもっていませんでした。おかあさんが「かりてきてくれてありがとう。」と、いつてくれました。

この本は ふるくて、ずっと 小ぬか小にあつたみたいで、としよカードには しらない人の 名まえが ありました。ふるくて、いたんでいたので、先生が 学校ししよの 先生に しゅうりを たのんで くれました。とつても きれいに なったので、ぼくは もう一度 かりてかえりました。

おかあさんに 見せたら 「これで また だれかが よみたくなくなるね。」と、とつても うれしそうでした。そうなると思います。ぼくの お気に入りになつたので、また よみたいです。『こいぬが うまれるよ』の本で、おかあさんと つながりました。本で 人と つながるんだと、うれしくなりました。

『きつねのおきやくさま』を読んで

2年 佐藤 愛子

この本を読んでみようと思つたきつかけは、本の表紙を見て、おもしろそうだなと思つたからです。読んでみると、かんだうする話でした。一ばん心にとつた場面は、キツネがオオカミから、ひよこ、あひると、うさぎをまもるところです。この場めんを読んだとき、わたしは、さいしよは、ひよこや、あひるをたべようとしていたのに、さいこには、かぞくのようなかんけいに、すてきななと思ひました。

『クワガタムシ』を読んで

2年 日野 叶穂

ぼくは、ノコギリクワガタをかつているから、この本をえらびました。この本を読んで、クワガタのせい長のしかたや、クワガタのしゆるいや、クワガタのかい方など、はじめてしるることが、いっばいありました。もつと、ノコギリクワガタのことを知りたいです。

『アルと考えるアルゴリズムってなんだ？』

3年 木下 健

ぼくはプログラミングが好きなのでこの本を選びました。ぼくは特に、この本のプログラミングを教えてくれるところにひかれました。ぼくのお気に入り場面は三つあつて、一つは、ぼくが本を読んできた中で、この本がプログラミングを教えてくれたので、ぼくがプログラミングを好きになれたこと。二つめは、プログラミングが苦手な人でもこの本を読むと分かりやすくてあるから。三つめは、この本には種類があるから、自分が苦手なプログラミングの場面で、本を切り替えるというと思います。

この本を読んで学んだことをプログラミングや、しょう来に生かしていきたいです。

『チョコレートタッチ』

4年 齋藤 結奈子

私は三年生のころにこの本を読んでみて面白かつたので、この本を選びました。

この本で一番面白いと思つたところは、主人公のジュンという男の子のまわりで、ある日、急に全部のものがチョコレート味のなるというところなんです。理由は、全部チョコレート味のなるので、歯みがき粉や、手ぶくろも食べてしまつたら、ふしぎで面白く思ひました。

私はこの本のようにふしぎな話のものが好きなので、これからまたたくさん本を読んでいきたいです。

『本当はこわい話』を読んで

5年 藤原 椿紗

「ぞつとしたー」。私は、学校で、『本当はこわい話』の『トンネル』という話を読みました。この話は、地塩トンネルを五時三十分に通つていたら、窓ガラスに血ぬられた顔がうつるといふ話です。この話は、もとは、トンネルであつた交通事故で亡くなつた人が、窓ガラスにうつるといふ話があることです。私はバスや車に乗つた時には、絶対に目をつむつておきたいと思ひました。

また、私は交通事故を見たことがあります。バレーボールの帰りに、渋滞になつたその前に、救急車がとまっていたので、運転していた人が、なにがあつたのか聞きに行きました。すると、横断歩道を渡つていたおじいさんとおばあさんが、ひかれるという事故で、ひいた人は、救急車を呼ばずにひきにげをしたということがありました。おじいさんとおばあさんには、近くにいた人が救急車をよびました。おじいさんは、血がすごい出ていて、いまにも死にそうなくらい血がでていました。おばあさんもでした。私は思わず泣いてしまいました。そのときは、とてもこわくて、今も頭の中にのこつています。その後のおじいさんとおばあさんのことは、私は知りません。息をもどしていいなと思つていながらも、ひきにげをした人のことも思ひます。あの人はずつとわすれない。頭にもこのつて、つみをつぐなつてほしいな。たいほをされているのかな。この話は、自分の心の中や頭の中に残り続けます。本当に怖い話も頭にのこります。交通事故は、二度と起きてほしくありません。

努力は必ず報われる

6年 為石 優雅

「なにがこわいんだろう？」

次のテストが三〇点以下だつたら、おこづかいをへらされる!! 前回のテストを見てまつかにいたお母さんがそうせんげんした。

一か月間努力した。そしてテストがかえされた。前よりだいぶまじになつたけど三〇点にはとどかなかつた。でも、努力はむくわれる... だれかに教わつた、努力は必ず報われる。お母さんに、テストといつしよに、ふうとうをわたした。「これ、先生からわたされたんだ。」手紙の正面に目を走らせると、その表情はやわらかくほほえんだ。先生がおどるとき、かんしんしていることが書いてあつたからだ。

テストの点数でお小遣いをきめるのはひどいと思ひます。考えなおしていただけませんか。

「あんた、先生におこづかいの話をしたの？」そう言つて、また、しかられたが、お母さんの顔はどかほこらしげだつた。「おこづかいの件はなしにしますよ!」でも、これで気をぬかないように!

大変だつたけれど、授業中がはつて本当によかつた。「練習したか」があつたよ...「ぼくは、どかがこわいか、かんがえてみると、「あ、そういうことか!」ぼくは意味がわかつてぞつとした。

「練習したか」があつたよ...「その男の子は、努力は勉強ではなく練習だつたんだ!」一か月間先生の字を練習していたんだ!「わかるよこわいはなしで、自分で考えることができるのだから、たのしいし勉強にもなるからいいと思ひました。」

『ヒロシマの記憶』を読んで

6年 柳楽 芽衣

私が、この本を読んで一番心に残つた絵は、原爆が落ちたせいで目も見えず、耳も聞こえなくなつた女性の絵です。この絵を見て原爆のおそろしさをすごく感じました。一つの原爆でたくさん命をうばつてしまふ。とてもおそろしいです。二度と戦争がおきてはほしくありません。今、世界では戦争がおこつているので早く終わつてほしいと思つてい

たてわり 4班



小奴可小学校全児童・「たてわり班」ごとに4回シリーズで発表

小奴可の里自治振興区では地域内の児童生徒のみなさんに図書カードを贈る事業を続けています。この夏の読書感想文を発表させていただきます。